

2024年7月6日  
岡部昌平

第354回山口西田読書会のプロトコル（2024年7月6日開催）

【テキスト】

旧全集第四巻「左右田博士に答ふ」三の第3段落（300ページの級下げ部分）「私は対象化せられた心理的意志を判断主観の上に置くのでもなく」から301ページ四の8行目「斯くしてこそ構成的思惟としてのカントの純粹統覚の意味は徹底し得ると思ふ」までを読了

【キーセンテンス】

コーヘンは――（中略）――遂に感覚をも思惟によって要求せられるものとして、オンに対するメー・オンと考へた（301ページ6行目）

【問い】

コーエンの考える純粹統覚も西田の自覚もメー・オン（非存在）としてあり、感覚のような直接経験と思惟の結合を認める点で共通しているという理解でよいか。